



鳥栖地区



No.142



まちづくり通信

令和7年3月1日発行

1.第31回鳥栖地区文化祭開催しました!!

今年はテーマを「多様性」として、2月1日・2日の両日で開催。1日目はあいにくの雨模様でしたが両日で1400名を超える沢山の皆さんにご来場頂きました。ありがとうございました!!



【展示】子ども達から年配の方まで幅広い年代の25組(個人7、団体18)の皆さんが出展。作品も編物、小物、書、パッチワーク、写真、絵画、絵手紙、いけばな、川柳や留学生の母国の紹介等バラエティに富んでいました。



ネパールの国旗やスリランカの国の紹介



SDGsをテーマに工夫をした園児たちの作品



【舞台】33組(個人10、団体23)の皆さんが出演。今年も各町区から推薦された「まちの芸達者」さん、海外留学生の方、自薦で参加された皆さんが日頃の練習の成果を存分に発揮され、ステージも客席也大盛り上がりでした!!



ネパールの方が「卒業時のダンス」や「友達の歌」を披露



楽しそうな太鼓演奏



町の合唱団のみなさん

【出店】区長さんの焼き芋屋をはじめ、今年も鳥栖地区及び近郊の12軒ものお店に出店頂きました。特に初日は雨の中ご協力ありがとうございました。



区長さんの焼きいも



雨にも関わらず食事処や出店の皆さんにはご協力頂きました



スタッフの皆さんお疲れでした

本当にありがとうございました!!

2.鳥栖地区各団体の皆さんの活動

交対協

鳥栖市ロードレース交通警備



1月19日鳥栖スタジアム周辺で開催され、警備の為に鳥栖地区交通対策協議会から4名の方が参加されました。



車両の誘導だけでなく、駐車場の案内や苦情の対応等、本当にご苦勞をしながら、毎回対応されています。いつもありがとうございます。

鳥栖小

感謝の集い



2月12日鳥栖小体育館にて、6年生が中心になって、感謝の気持ちを表す為、地区の団体の方を招いて、開催されました。



地区の団体の紹介、感謝の言葉・花の寄せ植え贈呈、感謝の歌等、子ども達の感謝の想いが伝わるととても良い集いでした。

交対協

県内一周駅伝交通警備



県内一周
駅伝
第5回 都市対抗

2月14日県内一周駅伝(轟木町、村田町34号線沿線)警備に鳥栖地区交通対策協議会から3名の方が参加。先日の鳥栖市ロードレースに引き続き、寒い中お疲れ様でした。こうした皆さんの地道な活動が競技を支えていると改めて感じました。

スポ協

鳥栖地区ラージボール卓球大会



2月16日鳥栖市民体育館諸室にて40名の参加で開催。冒頭平田種目部長から「大会の目的は交流。ラージボール卓球の裾野を広げつつ、みんなで健康づくりをしましょう」と挨拶がありました。地区の活動理念を体現できる本当に良い機会だと思います。

3.皆さんのまちにお邪魔しました

轟木町

藤棚整備



1月5日役員さん20名で日子神社の藤棚の整備が行われました。毎年この時期に作業が行われていて、1年ぶりの作業でしたが、寒い中脚立等を使った大変な作業。こうした役員さんのご苦勞で綺麗な藤棚が保たれています。

東町

シルバー29肉を食す会



1月28日役員含め約30名の方が参加され開催。東町公民館に集合し、バスで佐賀東部クリーンエコランドへ。施設見学の後、ユニークな〇×クイズを楽しんでお楽しみの肉を食す時間。美味しいお肉のお弁当を食べながら、皆さん楽しいひと時を過ごされました。

真木町

防災講習会



1月25日真木町公民館に地区の皆さん約50名と多くの方が参加され、日本赤十字社から講師を招かれて、開催。お孫さん連れで参加された方もいらして、本当に幅広い世代の皆さんが参加されていました。



日本赤十字社の紹介、鳥栖地区での災害発生確率や災害に対する備えについてお話されました。企画運営された磯野さんはじめ役員の皆さんありがとうございました。

【各町区及び団体の皆様へ】



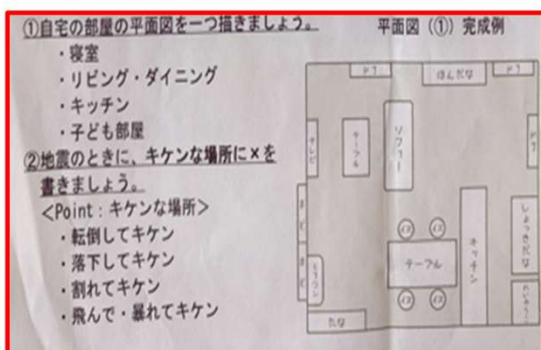
毎回、取材時には写真撮影や情報提供等、快く対応頂き、本当にありがとうございます

これからも宜しくお願い致します!!

4.生活基盤向上部会から防災・減災について【ご紹介】

真木町防災講習会(1月25日開催)の中の「地震対策」お話がとても分かりやすかったので、簡単ですが紹介します。

1)自助 家の中で「倒れるモノ」「落ちてくるモノ」「動いてくるモノ」から自分の身を守る!!



講習の中で「家具安全対策ゲーム(KAG)」がありましたので紹介します。自宅の部屋の平面図を描き、キケンな場所に「X」で記すゲームです。地震の場合、寝ていて倒れてきたタンスの下敷き、電子レンジ等が飛んでくる、割れたガラスでけが等が主なものだそうです。
キケンな場所のポイントは「転倒」「落下」「割れ」「飛来」するモノの周辺です。

逃げ道確保、圧死予防、飛散予防等具体的行動をイメージしながら、優先順位をつけて、少しずつ対策を実施し、家の中で自分が「けが」をしない事、被災してもダメージを少しでも軽くする事を考えましょう!!

2)共助 共助の中でも「近助」が大切!!

地震直後、不幸にも自身が被災した場合、まず助けてくれるのは同居の家族。その次は、班長、区長、行政の人やボランティアの人ではなく、近所の方。よく「共助」という言葉を聞きますが、生活基盤向上部会では「近助」が大事という話ができました。「災害があってから仲良くなるのは難しい」やはり「普段からのお付き合いが大事」で、「自分だけで大丈夫」はないそうです。



お問合せ

詳しくはインターネットで

鳥栖地区まちづくり推進協議会

検索



鳥栖地区まちづくり推進協議会事務局 (鳥栖まちづくり推進センター内) ☎0942 (83) 1686